

東日本シンポジウム

主催：NPO法人葬送の自由をすすめる会

鎮魂と再生の祈りをこめて

『いま、人を弔うということ』

■ 挨拶 安田睦彦氏 (本会会長)

■ 基調講演 「今、弔うことの意味を問う」

島田裕巳氏 宗教学者

「葬式はいらない」など著書多数
葬送基本法推進懇談会委員

東日本大震災は、死者を弔うということの意味を改めて問うことにつながった。人間にとって死は避けられない。身近な人間の死に直面したとき、死者をどう葬るのか。そこには、残された者の心をいかに癒すかという問題もある。社会が大きく変わること、伝統的な葬り方、弔い方が有効性を失いつつある。死の高齢化が進み、葬儀の簡略化という動きも加速している。これからも、旧来の葬儀を続けるのか、墓を作り続けるのか。それが今や問われるようになってきた。変化する状況のなかに、いかにして葬送の自由を確保し、多くの人々が癒される弔い方を考えてみたい。

東日本の震災と深く向き合ってきた方たち、宗教学者、法律家をまじえた多彩な顔ぶれで話し合う。

■ シンポジウム

出席者 (座長)	鈴木岩弓氏	東北大学教授 (宗教学)
	丹野綾子氏	河北新報社記者 (仙台市在住)
	金子隆一氏	みやぎ生協元理事 (山元町在住)
	阿部みちよ氏	本会東北支部長 (仙台市在住)
	島田裕巳氏	宗教学者 (葬送基本法推進懇談会委員)
	中村裕二氏	弁護士 (葬送基本法推進懇談会委員)

■ 日時 7月22日 (日) 午後1時～4時30分

■ 場所 仙台市シルバーセンター交流ホール
(仙台市青葉区花京院1-3-2 TEL022-215-3191)

■ 参加費 無料 (予約は必要ありません)